

リオ・ロボ (1970)

RIO LOBO

メディア 映画

ジャンル 西部劇

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1971/02/13

公開情報 東和

【キャッチコピー】

西部男の心意気を見せる 大御所ジョン・ウェインが 怒りのライフルをひっさげて 無法の町リオ・ロボにのりこんだ!★

【解説】

ウェインの他にスターは出ないが「リオ・ブラボー」「エル・ドラド」と続いた三部作の最後、そして監督ホークスの遺作となった骨太の群像劇ウエスタンである。前二作と同じく豪放な笑いを基盤に、老若男女入り乱れての戦う集団形成のディテールは大いに楽しめる。セミヌードのグラマーの登場などは時代色か。南北戦争末期、北軍護衛の金塊輸送列車が襲撃されるが、内部に裏切者がいるとみたマクナリー大佐は捜査に乗り出す……。最後の決戦も極めて陽性で、なんだかみんなして遊んでいるみたいな雰囲気。これこそがホークスという余裕が感じられる。映画の内容からすると渋すぎる、暗がりにギター爪弾く手のオープニング・タイトルもカッコいい。

【クレジット】

監督	ハワード・ホークス	Howard Hawks	
製作	ハワード・ホークス	Howard Hawks	
原作	バートン・ウォール	Burton Wohl	
脚本	バートン・ウォール	Burton Wohl	
	リー・ブラケット	Leigh Brackett	
撮影	ウィリアム・クロウシア	William Clothier	
プロダクション デザイン	ロバート・E・スミス	Robert E. Smith	
編集	ジョン・ウッドコック	John Woodcock	
音楽	ジェリー・ゴールドスミス	Jerry Goldsmith	
出演	ジョン・ウェイン	John Wayne	コード・マクナリー大佐
	ホルヘ・リヴェロ	Jorge Rivero	ピエール・コルドナ大尉
	クリストファー・ミッチャム	Christopher Mitchum	タスカロラ・フィリップス軍曹
	ジェニファー・オニール	Jennifer O'Neill	シャスタ・デラニー
	ジャック・イーラム	Jack Elam	フィリップス
	ヴィクター・フレンチ	Victor French	ケッチャム
	スサーナ・ドサマンテス	Susana Dosamantes	マリア・カルメン
	シェリー・ランシング	Sherry Lansing	アメリータ
	デヴィッド・ハドルストン	David Huddleston	ドクター・ジョーンズ
	マイク・ヘンリー	Mike Henry	トム・ヘンドリックス保安官

ビル・ウィリアムズ
ジム・デイヴィス
ロバート・ドナー

Bill Williams
Jim Davis
Robert Donner

パット・クロニン保安官
ライリー
ホワイティ・カーター